

電車と社会科

去年の秋のことだったと思うのだけれど、会議が始まる前に三木さんが話しかけてきた。たいへんにこやかに「お願いがあるんですけど。」と言う。これは危ないと思って逃げようとしたけれどもつかまってしまった。「奈良である社会科の全国大会に行ってほしい。」と言う。予想通りよくない誘いで断ろうと思ったけれども、発表者が教頭の時に教育実習に来た難波君で、司会者は彼が新採用の時から付き合いの萩原君と聞いてどうしようかなと思った。若い頃に県社会科研究会で先輩方に教えてもらったことの恩返しになるかなとも思った。結局、三木さんの術にはまって「いいよ。」と答えてしまった。やはり三木さんの笑顔は危ない。

山下くんのとりまとめで、研究授業、原稿の提出と順調に進んだ。そして、最終打ち合わせをしていて、どのような経路で奈良に行くかという話になった。「新神戸で新幹線を降りて、市営地下鉄で三宮まで行く。阪神三宮駅から奈良行きの快速急行に乗れば、阪神と近鉄は相互乗り入れをしているから、乗り換えなしで近鉄奈良駅まで行ける。」と言うと、皆が「それは便利ですね。」と言う。

私は言葉通りの経路で行ったのだけれど、宿舎近くで夕食をいっしょにとろうと集まった時に、「どうやって来たの？」と聞くと、三木さんは「新大阪から大阪駅に出て、関西本線の大和路急行で来た。」と言う。山下くんは、「京都駅で近鉄に乗り換えて来た。」と言う。あれほど、「それはいいですね。」と言っておきながら私と同じ経路で来た人は一人もいなかった。一番所要時間が少ないのは、京都経由、一番時間がかかるのは、神戸経由。一番経費が安いのは神戸経由、一番高いのは京都経由。大阪経由は時間、経費ともその中間ということが話を聞いてわかった。

人の話を好意的に聞き、同調するかのように見えて、各人が自分の判断で行動していることが楽しかった。理科や算数科は正しい答えは一つと決まっているけれども、社会科の場合は、乗り換えの手間、所要時間、経費、途中の景色などいろいろな要因がからむので、何が正しいのかはそれぞれが判断するしかない。正しい答えはいくつもあるということになる。社会科の勉強を続けてきた仲間の思考の仕方や行動の仕方が社会科らしくて面白かった。

研究会では、素晴らしい授業を見ることができ、難波君の実践発表もうまくでき、自分の役目も、倉敷市日本遺産推進室のご厚意でいただいた『一輪の綿花から始まる倉敷物語』のリーフレットに助けられ、何とか無事に終わることができた。

帰りは、シャトルバスで近鉄の富雄駅まで皆で出た。「生駒駅で快速急行に乗り換えの方がいいですね。」と三木さんが言ったけれど、私は、「娘に柿の葉寿司を頼まれているから、奈良西大寺駅に行く。」と言って反対方向の電車に乗った。無事に柿の葉寿司を買って近鉄で三宮をめざしたが、皆はどうしただろう。きっと、難波駅で降りて、新大阪駅に出ただろうなと思うと、めいめい勝手な倉敷市社研の仲間をととても心地よく思った。